

# にかほ市の国際交流 ～異文化への理解と共栄のために～

姉妹都市・友好都市  
交流事業について

にかほ市の国際交流事業は、今以上に加速する国際社会に対応できる人材の育成や、異文化への興味や理解を養うことを目的として行われています。  
7月28日から8月6日までの期間、にかほ市の姉妹都市であるアメリカ・ワシントン州アナコーテス市とオクラホマ州ショウニー市から中学生を中心とする訪問団が、また、中国浙江省諸暨市から初めてとなる高校生を中心とした訪問団の受け入れ事業を行いました。



アナコーテス市との  
国際交流

姉妹都市であるアメリカ・ワシントン州アナコーテス市の訪問団18名（中学生14名、引率4名）が、7月28日から8月6日の間、本市を訪問しました。  
隔年での相互派遣受け入れ事業のため、今回が9回目の受け入れとなります。  
昨年アナコーテス市を訪問した当市中学生の家庭に18名全員がホームステイし、市民との交流を通じ、日本文化を学びました。



▶平成8年9月に旧象潟町とアナコーテス市は姉妹都市となりました。

7月31日、象潟中学校と市役所への訪問や、マグカップの絵付けを行いました。  
中学校では、全校生徒による歓迎式や書道体験、スポーツ交流などが行われ、書道体験では、象潟中学校生徒に筆の使い方や書きながら思いの字を書いています。



仲良しツーショット

到着初日は、象潟構造改善センターでウェルカムパーティーが行われました。  
訪問団員とホストファミリーは各家庭から持ち寄った料理を食べながらおしゃべりを楽しみむなどして打ち解けあいました。

市役所訪問では、仕事内容の説明を受け、アメリカと日本の行政が持つ役割のの違いについて見識を深めました。



議場にて記念撮影

8月4日、日本文化に理解を深めてもらうことを目的に秋田市で竿燈まつりを見学しました。太鼓や祭り囃子の音色、竿燈の妙技に感銘を受けていました。  
竿燈が倒れそうなるほど傾くと、大きな歓声をあげ日本文化を堪能していました。



浴衣と竿燈



アメリカ・アナコーテス市からの訪問団（関連ページ 3ページ）



躍動感あふれるダンスを披露

8月5日は、日米意見交換会とフェアウェルパーティーが行われました。  
交換会では、アメリカと日本の学校生活の違いなどについて活発な意見が交わされ、文化などの違いに驚きながらも理解を深めました。  
パーティーでは、各家庭から料理が持ち寄られるなどアットホームな雰囲気で行われ、団員同士、別れを惜しみつつも楽しい時間を過ごしました。  
また、訪問団生徒による余興のダンスが披露されると、大きな拍手が起きました。最後には、いつか、またにかほ市に来たいという声も多く聞かれました。



アメリカ・ショウニー市からの訪問団（関連ページ 4ページ）

訪問団から

ジョーダン・ナップさん

2年前に国際交流事業に参加を決めた際、日本に行くという実感はありませんでした。しかし、旅費の資金集めや日本文化の勉強を頑張った結果、無事日本に来ることができました。  
始めは、交流することにお互いぎこちなさがありましたが、様々な文化を学びたいという同じ気持ちを持つていたこともあり、言葉の壁はありませんでしたが、仲良くなることができました。  
日本で過ごせる時間に限りがあるというのは非常に寂しいですが、私がこの国際交流事業で得た友情はこれからも続いていきます。  
にかほ市で体験したことはい生忘れることのできない思い出になりました。



中国・諸暨市からの訪問団（関連ページ 5ページ）